

新ごみつつしん 南魚沼 No.4

【問合せ】新ごみ処理施設整備室 ☎782-0263

新ごみ処理施設整備の建設予定地は、今までに公募による選定と行政主導による国際町候補地の選定を行いました。現在は、次の候補地選定に向けて検討を行っています。今回は、これまでの建設予定地の選定の大まかな経緯と、地域での説明会で多かった主な質問や市からの回答などを紹介します。



建設予定地の選定のこれまでの経過 一般公募

平成27年11月	平成27年11月から平成28年4月まで、南魚沼市・魚沼市・湯沢町の2市1町から広く候補地の公募を行った結果、南魚沼市内から2地区、湯沢町内から1地区の合計3地区から応募があった。
平成28年12月	応募のあった3地区の近隣地区に、建設の同意について確認を行ったところ、3地区ともに近隣地区からの同意が得られなかった。
平成29年2月	応募のあった3地区について、近隣地区への説明を含め、慎重に検討を重ねた結果、一般公募の趣旨であった近隣地区を含めた地元自治会からの理解を得ることができず、3地区とも候補地として適当ではないという結論に至った。その後、公募による候補地の選定を断念し、行政主導で選定を行うこととした。

国際町候補地

平成30年1月	行政主導で適地を調査した結果、2市1町のおよそ中央区域に位置し、整備に必要な面積が十分確保できるなどの理由から国際大学の隣接地で同大学が所有する土地を最適地と判断した。また国際大学から大筋で合意を得たとして、同地を建設適地として選定することを、2市1町の首長が合意した。
2月	2市1町の各議会で国際大学用地内を建設候補地とすることを発表。(湯沢町は3月6日発表)
3月	建設予定地周辺の行政区説明会(1巡目)を実施。(21会場、参加者延べ569人)
6月	建設予定地に近接する4地区から「国際大学用地内のごみ処理施設建設について反対の請願」が提出される。
6~7月	ごみ処理施設先進地への視察を3回実施。(武蔵野クリーンセンター〔東京都武蔵野市〕、上越市クリーンセンター〔新潟県上越市〕)
11月	建設予定地周辺の行政区説明会(2巡目)を実施。(15会場、参加者は延べ300人)
平成30年12月~平成31年3月	ごみ処理施設先進地への視察を3回実施。(武蔵野クリーンセンター〔東京都武蔵野市〕、杉並清掃工場〔東京都杉並区〕、上越市クリーンセンター〔新潟県上越市〕)
令和元年5月	各行政区の考えや意見をまとめるため、協議会の設置について周辺の行政区長と相談したが、各地区や個人の意見が異なる中、委員の選出や責任のあり方などが課題となり、協議会の設置は難しいという結論に至った。
11月	地域環境を守る会、国際大学有志の会から「国際大学用地内のゴミ焼却場建設反対についての要望」が市に提出される。
令和2年2月	国際大学用地内での計画について2市1町の首長で協議を行い、計画の撤回を決定。2月20日、各市町の議会で、国際大学用地内の建設計画を白紙撤回することを発表。